

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 株式会社 イーエムシステムズ  
 コード番号 4820 URL <http://www.emsystems.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國光 浩三  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 青山 明  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 東

TEL 06-6397-1888

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,971		598		622		386	
20年3月期第1四半期	2,674	2.4	149	51.6	158	50.7	87	51.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	48.64	
20年3月期第1四半期	11.03	10.86

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
21年3月期第1四半期	17,609		6,985		39.0	863.49		
20年3月期	18,680		7,542		39.8	934.98		

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 6,866百万円 20年3月期 7,427百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期				23.00	23.00
21年3月期				23.00	23.00
21年3月期(予想)				23.00	23.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	5,194		839		922		516		65.12
通期	10,846	3.9	1,112	210.1	1,278	228.2	716	244.2	90.18

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 社(社名) ) 除外 社(社名) )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 以外の変更 無  
 (注) 詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 7,952,550株 20年3月期 7,944,950株  
 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 937株 20年3月期 937株  
 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 7,946,546株 20年3月期第1四半期 7,929,413株

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、2ページ[定性的情報・財務諸表]3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当四半期の売上高は1,971百万円、経常損失622百万円、四半期純損失386百万円となり、売上高に關しましては平成20年5月15日に開示いたしました当期の業績の見通しを下回ったものの、損益面に關しましては、計画どおりに推移いたしました。

当四半期におけるわが国経済は、原材料価格高騰にともなう企業収益の悪化や、物価上昇にともなう実質所得減少による消費行動の抑制傾向が見られました。

このような経済状況のもとで、当社の主要顧客であります調剤薬局を取り巻く環境といたしましては、平成20年4月より施行された医療制度改正による先行き不透明感から、経営に与える影響を見極めるための様子見傾向が窺え、設備投資意欲は消極的なまま推移いたしました。そのため、平成21年4月から調剤薬局に対して段階的に義務化されるレセプトオンライン請求につきましても、現時点では情報収集の段階で留まり、積極的導入まで踏み切れない足踏み状態となっております。

このような状況のもと、調剤薬局向けシステム事業につきましては中・長期経営計画のとおり、平成20年10月より発売いたします新しいシステムより、これまでの5年間無償保証付システム販売プランに代わり、ハードウェアの初期費用及び処方箋枚数に応じた月額使用料課金方式に全面的に切り替えることとし、この4月からは、その課金方式を新製品発売までの現行主力システム販売においても適用する、ビジネスモデル転換を図りました。このビジネスモデル転換は市場の支持をいただいておりますが、販売チャネル企業へのビジネスモデル説明に相応の時間を費やしました。そのため、新たな販売モデルの受注は緩やかな立ち上がりとなりましたが、月を追って加速度的に浸透しており、第2四半期も順調に伸びております。「レセプトオンライン請求スターターキット」につきましては、積極的導入とはいかないまでも、市場への認知は浸透し始め、前期と比較すると受注件数は顕著に増加しております。

ネットワーク事業につきましては、国立感染症研究所との共同研究である「処方情報に基づく症候群サーベイランスシステム」の有効性が認められ、当社ASPユーザーや各都道府県の自治体でのモニター利用件数は着実に増加しております。また、北海道洞爺湖サミットの開催に向けて、周辺エリアに導入された当システムが地域住民の健康状況を把握できるシステムとして活用されました。大手調剤薬局チェーンやドラッグストアチェーンにおいては各店舗の統括管理が必要であり、「NET-」を始めとする当社独自のASP技術基盤を活用した管理システム導入に向けた動きが見え始めております。

医科システム事業につきましては、前期に引き続き既存の販売チャネル(医薬品卸企業)の活用並びに医療機関への直接的アプローチを継続して行うとともに、販売チャネルのさらなる拡大策として、当社のユーザーであります調剤薬局より処方元の医院をご紹介いただくチャネルに加えて、医療機器メーカーや医療コンサルタントとのネットワーク構築を行っております。そのため、当四半期においては予定件数の受注には至りませんでした。この販売チャネルの展開により広範な情報を入手することで、今後の受注活動に結びつくものと考えております。

調剤薬局事業につきましては、平成20年4月より施行された医療制度改正により厳しい経営環境が続いております中で、株式会社祥漢堂といたしましては堅調に推移いたしました。新大阪ブリックビル竣工に伴い、ビル1階に移転いたしました新大阪店におきましては、ビル2階医療モールや周辺地域医療機関との連携が進みつつあります。また、他社との差別化を進めるため、「祥漢堂」という名前を広め、新たなビジネスチャンスに結びつける活動として、医師、薬剤師を対象にした漢方講座を企画し、平成20年7月に開催いたしました第1回目講座は好評をいただきました。

新大阪ブリックビルにつきましては、本社並びに大阪支店の全ての移転を無事完了いたしました。これを期に、より一層、効率的で高品質なユーザーサポートの提供に努めてまいります。テナント誘致につきましては、すでに入居が確定しておりました優良企業の入居が無事終了し、新大阪エリアの新しい顔として認知が進みつつあります。また、未確定スペースにつきましても、当社に有利な条件での契約交渉を引き続き進めており、入居申し込みに繋がっております。テナント入居先との賃貸借契約におけるフリーレント期間設定により、家賃収入計上が当初計画より1ヶ月程度遅れましたが、その後の収支は計画通り推移しております。なお、引き続き、この極めて優良なビル資産を有効活用する手法を常に検討し続けており、適時、適切な判断を行ってまいります。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、現金及び預金の増加、並びに、売掛金、未収消費税の減少により、前期末に比べ1,070百万円の減少となりました。

負債につきましては、長期預り保証金、前受収益の増加、並びに、未払金、繰延税金負債の減少により、前期末に比べ513百万円の減少となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、平成20年5月15日に公表しました業績予想に変更はありません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,506,561	1,055,221
受取手形及び売掛金	1,629,404	2,621,882
商品	206,378	189,194
製品	1,509	816
その他	335,346	730,161
貸倒引当金	889	1,449
流動資産合計	3,678,309	4,595,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,560,600	1,585,173
土地	819,030	819,030
その他(純額)	499,195	532,533
有形固定資産合計	2,878,826	2,936,738
無形固定資産		
ソフトウェア	586,951	467,024
その他	5,918	5,918
無形固定資産合計	592,869	472,942
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	9,805,306	9,913,095
その他	658,660	766,498
貸倒引当金	4,106	4,114
投資その他の資産合計	10,459,859	10,675,479
固定資産合計	13,931,556	14,085,159
資産合計	17,609,866	18,680,986
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	551,514	631,091
短期借入金	7,606,000	7,531,000
未払金	744,411	1,013,573
未払法人税等	5,154	157,913
賞与引当金	187,519	250,183
その他	624,299	469,831
流動負債合計	9,718,899	10,053,592
固定負債		
退職給付引当金	205,629	200,660
役員退職慰労引当金	2,317	2,067
製品保証引当金	162,542	176,859
長期預り保証金	453,573	378,091
その他	81,480	326,969
固定負債合計	905,542	1,084,647
負債合計	10,624,441	11,138,240

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,579,926	1,577,152
資本剰余金	1,551,031	1,548,257
利益剰余金	3,729,229	4,298,469
自己株式	699	699
株主資本合計	6,859,487	7,423,179
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,648	4,349
評価・換算差額等合計	6,648	4,349
新株予約権	119,288	115,217
純資産合計	6,985,425	7,542,746
負債純資産合計	17,609,866	18,680,986

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	1,971,354
売上原価	1,156,088
売上総利益	815,265
販売費及び一般管理費	1,413,339
営業損失( )	598,073
営業外収益	
受取利息	321
受取配当金	146
受取地代家賃	101,350
その他	10,009
営業外収益合計	111,828
営業外費用	
支払利息	18,949
減価償却費	114,948
その他	2,755
営業外費用合計	136,653
経常損失( )	622,898
特別利益	
貸倒引当金戻入額	1,360
特別利益合計	1,360
特別損失	
固定資産除却損	10,455
特別損失合計	10,455
税金等調整前四半期純損失( )	631,993
法人税等	245,466
四半期純損失( )	386,527

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(要約)四半期連結損益計算書

(単位:千円)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額
売上高	2,674,833
売上原価	1,275,375
売上総利益	1,399,457
販売費及び一般管理費	1,250,091
営業利益	149,366
営業外収益	14,438
営業外費用	4,903
経常利益	158,901
特別損失	1,277
税金等調整前四半期純利益	157,623
税金費用	70,143
四半期純利益	87,480